

男子第71回・女子第36回 近畿高等学校駅伝競走大会
開催に際するガイドライン、申し合わせ事項

【基本事項】

1. **沿道での応援については自粛**を要請する
2. 日々の体調管理と検温を実施し参加生徒の健康状態を各校顧問で把握すること。
なお、**大会開催前7日間および開催後14日間は所定の健康チェックシートに必要事項を記録すること。**
3. 「3密」の回避
 - * ソーシャルディスタンスの確保。
 - ・ **選手輸送バス、スタート・フィニッシュ地点周辺、各中継所、各校待機場所、宿舎** 等
 - ・ 近距離での会話や発声・高唱を避ける。
 - ・ 十分な換気。(宿舎、選手輸送バス)
4. 感染症対策
 - (1) **マスクの着用**
 - ・ 選手はウォーミングアップや競技を行っている時以外は必ずマスクを着用すること。
 - (2) **手洗い、手指消毒の徹底**
 - ・ 競技前、競技後の手洗い・手指消毒。
 - ・ 手指消毒用アルコール液の設置。
(体育館、スタート・フィニッシュ地点、中継所、トイレ、輸送バス 等)
 - * 競技役員・補助員は任務内容によりゴム手袋を着用する。
 - (3) **「兵庫県コロナ追跡システム」への登録**を要請する。
 - (4) 「新型コロナウイルス感染症対策室」(以下、対策室という)の設置
＜構成メンバー＞
 - ・ 高体連：会長(近畿)、各府県委員長、部長・県常任委員(兵庫)
 - ・ 陸上競技協会(アドバザ)：会長(近畿)、会長代行・専務理事・医事委員長(兵庫)
 - ・ 南あわじ市：教育委員会担当者
 - (5) **感染者、濃厚接触者、感染の疑いがある者が出た場合の対応**
 - * 当該チームは速やかに主催者へ報告しなければならない。
 - ・ 対策室は関係機関と連携して対応にあたる。
5. 大会への参加について(監督、引率者、選手、補助員、大会役員、競技役員、報道関係者)
 - * **参加生徒については、各校で本ガイドラインに同意し遵守することを確認のうえ、保護者の承諾があること。**
 - * **所定の承諾書・健康チェックシート・参加者名簿を主催者に提出すること。**
 - * 選手、付添、大会役員、競技役員、報道関係者にはADカードを発行する。
 - * **下記の①～③の場合は参加を認めない。**
 - ① 体調がよくない場合。(例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - ② 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
 - ③ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
6. 大会中止の判断基準について(新型コロナウイルス関連)
 - ① 緊急事態宣言が発令された場合。
 - ② 近畿圏内や南あわじ市での感染状況を踏まえて主催者で協議する。

【競技運営面での対策】

1. 中継所、選手輸送バス内での密集・密接の回避。
 - ・付添については、各区間に1名認める。ただし、バスによる輸送は行わない。
 - ・選手は輸送バス2台に分乗させる。
2. 通信機器の活用によりレースの状況を把握し、中継時のスムーズな選手誘導を行う。
3. その他
 - ・給水を実施する場合は、感染防止対策に十分留意すること。
 - ・速報記録および正式結果は、Web掲載とする。

【その他の対策】

1. 宿泊、弁当は希望制とする。
2. 開会式は簡素化して行う。なお、競技終了後の表彰式は行わない。
3. 監督会議、開会式、競技役員打合せは三原健康広場体育館で行う。
4. **監督・選手・付添、大会役員、競技役員以外のスタート地点付近、三原中学校敷地内への立ち入りを禁止する。(ADカードによる入場規制の実施)**
5. 大会終了後は速やかに帰宅させる。
6. 各校待機場所について
 - ・他校の待機場所との距離を離す。
 - ・各校、各自での消毒液の準備を要請する。
 - ・使用場所周辺の清掃を行う。
7. 会場清掃の簡略化
 - *ゴミは各自・各校持ち帰りとする。**
8. 感染防止のため、声を出しての応援（ラップタイムの読み上げも含む）、集団での応援は禁止する。(手拍子などは可とする)
9. 大会参加者、保護者、卒業生、地域住民 等への周知
 - ・別紙「大会参加者・保護者・卒業生・地域住民の皆様へのご願い」をHPに掲載するとともに、チラシ、市広報紙などを通じて周知する。
 - 特に、応援自粛については参加校顧問から保護者、卒業生等関係者への周知徹底を要請する。**